

## いしかわの森づくり財源検討部会（第5回）議事要旨

### <第4回いしかわの森づくり財源検討部会の要旨について>

特に意見ない

### <いしかわの森づくり財源検討部会報告書（案）について>

（平野委員）

報告書の内容についての異論はないが、森づくりのための税率については、先行県の事例を参考にしながら、本県の森林の現状を踏まえて慎重に結論を出していただきたい。

（米谷委員）

今年は豪雨災害等が各地で発生しており、水源林の重要性を改めて認識される状況にあることから、委員会としての結論を早く出すべきである。

また、税率については、事業規模との兼ね合いで決まってくることから、どの程度の規模で実施するか県民に示すことが大事である。

（大西委員）

近い将来において新たな森づくりが実施されるとしても、県民に対して森林の現状についてより一層の広報活動を行う必要がある。

また、年間にどれくらいの森林整備ができるのかなどの具体的な内容を示すべきである。

（有川委員）

先般、加賀地区で大雨が降り柴山湯が氾濫したが、その原因のひとつに森林の保水力の低下という意見も出ているが、森林所有者だけでは森林管理を行うことが困難な状況にあるため、早急に結論を出すべきである。

（東方農林水産部長）

数名の委員からお話があったが、どの程度森林整備していくかについては、検討委員会の方で具体的な内容を提示していきたいと考えている。

間伐をこれまで実施していない2万9千ヘクタールの森林のうち、どれだけ対象にするかとか間伐の方法、間伐した後の更新の方法、既存制度との兼ね合いなどを次の検討委員会で議論していただきたいと考えている。

（中島部会長）

委員の皆様方はだいたい同じ意見だと思いますが、今回事務局から提案があった「いしかわの森づくり財源検討部会報告書（案）」を承認してよろしいか。

(全委員)  
異議なし

当報告書（案）は、原案のとおり承認された。